

千電協会報



千葉県電業協会
一般社団法人 2024. 1 第50号



目次

(敬称略)

● ご挨拶

会 長	細 矢 充
千 葉 県 知 事	熊 谷 俊 人
千葉県県土整備部営繕課 課長	白 壁 慶 積
(一社)日本電設工業協会 会長	山 口 博

● 1年を振り返って

- ・第61回通常総会、懇親会
- ・地区別会員交流会
- ・三県連絡会議
- ・千葉県高等学校工業教育研究会「総合技術コンクール」
- ・委員会報告
 - 防災・渉外委員会
 - 技術・人材委員会
 - 総務・企画委員会

● 寄稿文

「当社ロゴ制作につきまして」
「フルマラソンと私」

(株)黒田電気商会 黒田 佳孝
太陽電設(株) 坂本 隆志

● 新入会員紹介

(株)黒田電気商会

● 新入賛助会員紹介

因幡電機産業(株) (株)白川電機製作所 田中商事(株)
(株)土井製作所 日本電機(株)

● 会員消息

● 会務報告

● 総会日程案内

● 協会役員

● 組織構成

● 会員名簿

● 編集後記



(表紙等の写真)

香取神宮(香取市)

総務・企画委員 青木氏・提供

年頭のご挨拶



(一社)千葉県電業協会会長

細 矢 充

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

近年の電気設備業界を取り巻く環境を振り返りますと、中東不安、円安に伴う物価上昇、コロナ禍による資機材調達の遅延など、社会全般にも大きな影響をもたらしています。

また、近年は人命を脅かす震災や台風や大雨など自然災害が多発し、被害も甚大化しており、安全・安心の暮らしを守ることが強く求められています。

当協会は、平成15年4月に千葉県と地震や風水害に関する災害協定を締結しており、緊急時使用車両・主要資材の備蓄を整備し、資機材等のリスト作成・災害を想定した出動等の訓練・講習を県各機関と合同で行っています。

昨年は木更津地区で震度5強の地震が発生した際、訓練通りに県民のライフラインを守る重要施設を巡回することが出来ました。

また、世界各地で起きている異常気象等の気候変動の原因は、温室効果ガスによると考えられており、多くの国が、温室効果ガスの実質的な排出をゼロにするカーボンニュートラル（脱炭素社会）に取り組むことを表明しています。温室効果ガスの排出量削減は喫緊の課題になっており、今後はますます化石燃料依存からの脱却が求められることとなります。ここ数年は常に再生可能エネルギー、省エネルギー、発電・蓄電設備などの技術が求められており、電気設備業界にとって信用の技術力で上昇気流に乗る大きな変革期が巡ってきたように感じております。

当協会の会員は、電気設備業を生業としており、インフラ整備や省エネなど、カーボンニュートラルの実現に向けた大きな責任と役割を担っていると自負しております。今後も強靱な経営体質を持ち、事業継続計画で自身の身を守り、即座に地域を救援できる技術者

集団を目指したいと考えております。

今年4月には超過労働時間の緩和が解除され、罰則付きの時間外労働の上限規制が施行されます。建設業界も働き方改革の入り口に立つこととなります。しかし、現状、建設業界は、少子高齢化対策や労働環境整備の遅れから、慢性的な担い手不足、人材不足に陥っています。

当協会では、新たな担い手の入職を心待ちにしているだけではなく、労働環境の整備、小中学校や工業高校への出張授業など、未来の担い手確保を裾野に活動を展開してきました。人材確保が企業と業界の存続の鍵を握ることとなります。新卒者や若者、女性や外国人など、老若男女・国籍を問わず、新たな担い手の採用を積極的に行い、技術者の育成、技能者の確保を進めると同時に、労働集約型のビジネスモデルを払拭する変革に挑戦することが重要と感じております。

その解決策として、DX（デジタルトランスフォーメーション）に期待を寄せております。機械化、デジタル化を進めて生産性を高め、オープンAI、VR、三次元CAD、BIM/CIMの活用した業務の改革で、新たな担い手が活躍する機会になると信じています。

新年にあたり、国家間の諍いの収束と想定外の災害が起こらないことを心から願うとともに、皆様のご安全を心からお祈り申し上げます。

本年もよろしく願いいたします。



知事年頭のごあいさつ



千葉県知事

熊谷俊人



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

昨年9月の台風第13号で被害に遭われた県民や事業者の皆様に、心からお見舞いを申し上げます。

一日も早い復旧に向けて全庁を挙げて取り組むとともに、貴協会との「災害応急対策に関する業務協定」の締結をはじめとした関係団体の皆様との連携により、災害に強い千葉県づくりを着実に進めます。

貴協会の会員の皆様には、日頃より、電気工事業に関する知識の普及・啓発、技術の向上等に積極的に取り組まれるなど、本県の電気工事業界の健全な発展に御尽力をいただくとともに、県政の推進に御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

経済面では、県内経済の回復を確かなものとし、賃上げと消費拡大、企業の成長などの好循環を実現するため、中小企業のDX等による生産性向上や、リスクリング等による人材の確保・育成を支援します。

また、海外からの観光客も回復する中、誘客促進とともにワーケーションなど新たな旅のスタイルの促進などにも取り組みます。

成田空港は、第3滑走路新設など「第2の開港」ともいえる機能強化を予定しています。昨年は空港周辺での土地利用規制の弾力化を実現したところです。

県として物流をはじめ国際的な産業拠点の形成を図るなど地域づくりを推進します。

本県活性化の基盤となる道路ネットワーク整備についても、引き続き積極的に取り組みます。

東京湾アクアラインでの時間帯別料金の社会実験では、2か月間で渋滞による時間のロスが土曜日では44%減少したことが確認されました。今後、利用者の行動変化等の分析・評価を進めます。

持続可能で活力ある社会の実現を目指し、「2050年カーボンニュートラル」の実現に向けた動きを、新しい時代に適した経済成長につなげるよう取り組んでまいります。

千葉の多様な魅力を発信するため、本県の三方を囲む海をテーマに豊かな食文化や伝統文化などをアピールしていきます。

本年11月には、「ちばアクアラインマラソン2024」を開催しますので、ぜひ、海の上を走る爽快感を体感してください。

県誕生150周年を機に、昨年から各地で多彩な記念事業を展開しています。改めて県が市町村や企業等とともに地域づくりに取り組んでいく節目としたいと考えています。

本年は、次の100年に向け新たな一歩を踏み出す一年です。県民の皆様と力を合わせて未来の千葉県づくりに取り組んでまいります。

結びに、一般社団法人千葉県電業協会のますますの御発展と、会員の皆様の御活躍を祈念申し上げまして、年頭の挨拶といたします。



年頭のごあいさつ



千葉県県土整備部営繕課 課長

白 壁 慶 積



謹んで新年の御挨拶を申し上げます。

一般社団法人千葉県電業協会及び会員の皆様には、日頃から千葉県の営繕事業の推進に御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、千葉県が整備する県有建物は、多くの県民の生活や経済社会活動を支える重要な共有財産ですが、それらを適切な状態で維持していくために、本県では、平成29年11月に「千葉県県有建物長寿命化計画」を策定し、財政負担の軽減や平準化を図りながら、大規模改修や建替え、計画保全への切替え等の長寿命化対策の円滑な実施及び県有建物の総量の適正化を推進してきました。

また、昨年3月には本計画を改定し、新たに脱炭素化の推進など社会情勢の変化に対応した取組等を盛り込むとともに、具体的な整備施設を示した整備計画Ⅱ期（令和5年度～令和9年度）を見直し、新たにⅢ期（令和10年度～令和14年度）を策定しました。

本計画では、県有建物が有すべき社会性、安全性、機能性、環境保全性、経済性の基本的な性能項目に加え、環境対策、防災対策、ユニバーサルデザイン・バリアフリーの導入、デジタル技術を活用した多様で柔軟な働き方等に対応する環境整備、木材利用促進による建物整備、民間資金とノウハウの利活用の事項に留意し取組を推進していくこととしています。

さらに、2050年カーボンニュートラルの実現に向け、県自ら率先実行する取組をさらに加速していくため、「千葉県庁エコオフィスプラン」を昨年3月に改定し、今後、新築・建替えを行う建築物は、工事の際、断熱性能の向上や空調・換気設備の高効率化、LED照明の導入等により、ZEB化を図る等省エネルギー性能の高い建築物を整備していくこととしています。

現在、営繕課では、これらの計画等に基づき、千葉リハビリテーションセンターの建設工事、新千葉県立図書館・県文書館複合施設や千葉県総合スポーツセンター体育館の設計等の営繕事業を進めているところです。

電気設備工事については、省エネルギー技術や情報通信技術など技術の進歩が著しく、高度な専門技術や最新の電気保安法令の知識も必要であり、計画どおりに事業を進めていくためには、豊富な経験と高い技術力を有する会員皆様の御協力が必要と考えておりますので、引き続き御協力くださるようよろしくお願いいたします。

現在の建設業を取り巻く環境は、深刻な人手不足や急激な資材価格の高騰など厳しい経営環境にあります。また、本年4月には、建設業への時間外労働の罰則付き上限規制が適用されます。

これらの課題に対応するためには、更なる働き方改革の推進や生産性向上への取組等が必要と考えられます。

千葉県としましても、予定価格や工期の適正な設定、施工時期の平準化、適切な契約変更、週休2日促進工事の実施等の取組を引き続き推進してまいりますので、会員皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

結びに、一般社団法人千葉県電業協会のさらなる御発展と会員の皆様の益々の御活躍を祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。



年頭のごあいさつ



一般社団法人 日本電設工業協会会長

山口 博



皆さま明けましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。皆様には当協会の活動に対し日頃から多大なご支援を賜り、この場を借りまして心から御礼申し上げます。

本年4月1日より、いよいよ労働基準法の時間外労働規制強化が建設業にも適用となります。この改正内容については、法律改正が行われてから数年間の施行猶予の期間がありましたので、浸透するに十分な時間があったとは思いますが、今後の私どもの業界が永続していくために欠かすことのできない「働き方改革」を実現するために必要な内容となっています。この改正の目的と内容をすべての工事関係者が十二分に理解し、現実には建設業界が魅力のある働き場として、新しい力を永続的に迎え入れ続けることができる職場を作っていくことがぜひとも必要です。改めて、工事関係者の皆さまのご理解、ご協力をお願いしたいと思っております。

昨年を振り返りますと、去る2020年当初から対応に追われてきました新型コロナウイルス感染症がようやく沈静化し、わが協会においても、JECA FAIR（電設工業展）や秋の会員大会をほぼ従来のスタイルに戻して開催することができ、志を同じくする者同士が一堂に会し交流することのありがたさ、貴重さを改めて感じることができました。また、新型コロナウイルス感染症が沈静化するに合わせるように昨年半ばから、業績の方も力強い復活の兆しが見られ、ようやく業務に邁進する状況が整ってきたことも感じられるようになりました。

この好機に合わせ、私どもの現下の最大の課題である「働き方改革」を強力に推し進めなければなりません。

昨年の会員大会では、「令和6年4月に迫った『時間外労働の上限規制適用』への的確な取組みを！」をメインテーマに

1. 業務の合理化・効率化・生産性向上により就労時間を削減しよう！

- 受注時から一貫した適正工期確保の取組み
- 「建設ディレクター」の活用等による現場担当者の負担軽減
- 様々な生産性向上ツールを利用した作業の効率化・合理化

2. 「4週8閉所」の実現に向け努力しよう！

- 改正労働基準法に定める時間外労働の上限「月45時間・年360時間」への適合には、工事現場の「4週8閉所」が必要
- 工事関係者間での良好なコミュニケーションによる「4週8閉所」の実現
- 主張すべきことは主張するマインドの醸成

3. 電設工事業の将来を見据え、希望に満ちた業務環境を創ろう！

- 新4K(給与、休暇、希望、かっこいい)の実現をめざそう
- 脱炭素、省資源、自然共生等の地球環境保全の課題に取り組もう
- 多様な人材の活用により電設工事業の発展と持続可能性を追求しよう

を内容とする令和5年度会員大会決議を満場一致で採択いたしました。

この決議内容を柱として、魅力ある電設工事業を目指して会員が一丸となって努力を続けていきたいと存じます。

本年も電気設備に携わる皆様のニーズに応え、業界全体の技術力の向上と新しい時代をけん引する発想につながるよう一層の紙面の充実に取り組んでまいります。引き続きのご支援、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

結びに、今年の干支は、「甲辰(きのえ・たつ)」です。「甲」、「辰」とともに吉兆を象徴する文字であり、「成功の芽が成長していき、姿を整えていく」という縁起のよい兆しを示しております。干支にあやかり、本年が皆様の満願成就の一年となりますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。



1年を振り返って

詳しくはホームページをご覧ください。他の活動についても掲載されています。

<http://www.tidenkyo.jp/>

第61回通常総会

開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等
令和5年 5月25日 オークラ千葉ホテル	第61回通常総会 ・第1号議案 令和4年度事業報告について ・第2号議案 令和4年度収支決算の承認について ・第3号議案 会費改定について ・第4号議案 令和5年度事業計画について ・第5号議案 令和5年度収支予算について	出席 36社 議決権 52社 委任状 21社 計 109社



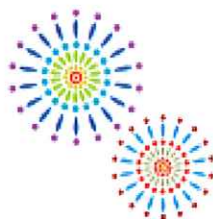
第 61 回通常総会懇親会

開催日時、場 所	出席者・対象等
令和5年 5月25日 オークラ千葉ホテル	会員36名、 賛助会員36名、 来賓19名 計 91名



功労者・表彰

開催日時、場 所	対象者
令和5年 5月25日 オークラ千葉ホテル	功労者 表彰(委員表彰) 小川 敬幸 様 千葉電建 株式会社



地区別会員交流会

開催日時、場 所	地 区 名	出席者
令和5年 11月15日(水) ザ・クレストホテル柏	東葛・葛南地区 地区担当理事:會田 広之	会員20社 23名
9月 6日(水) ホテルウェルコ成田	北総・東総・山武・長生地区 地区担当理事:中村 和彦	会員10社 12名

三県連絡会議

開催日時、場 所	内 容
11月30日(木) フローラ船橋	(埼玉県電業協会) ・「建設ディレクター」の推進状況について ・BIMの推進状況について (神奈川県電業協会) ・働き方改革に伴う現場閉所の状況について ・働き方改革に伴う建設業協会への要請活動について (千葉県電業協会) ・各県のCPD認定講習会実施状況について

出席者・対象等

千葉県	9名
神奈川県	4名
埼玉県	5名



千葉県高等学校工業教育研究会「総合技術コンクール」 関東大会

開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等	備 考
8月26日(土) きんでん人材育成 センター	<ul style="list-style-type: none"> ・工業高校総合技術コンクール 審査員派遣 ・電気工事を含む10部門による 競技 ・大会参加者 16名(うち千葉県2名) 	審査員 5名 ※千葉県電気工 事工業組合と 合同派遣	5/24 事前打合せ 7/10 事前打合わせ

千葉県高等学校工業教育研究会「総合技術コンクール」 県大会

開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等	備 考
11月25日(土) 県立京葉工業高校	<ul style="list-style-type: none"> ・工業高校総合技術コンクール 審査員派遣 ・電気工事を含む10部門による 競技 ・大会参加者 県内11校14名(電気) 	審査員 4名 ※千葉県電気工 事工業組合と 合同派遣	9/13 事前打合せ 10/17 事前打合わせ



委員会報告 防災・渉外委員会

委員長

南山 和也



新年あけましておめでとうございます。

防災・渉外委員会の令和5年の活動についてご報告申し上げます。

渉外活動としては、県土整備部出先機関への挨拶・陳情活動や、県との意見交換会などを前年までのコロナ禍とは違い、制限の無い形で行うことが出来ました。

防災活動としては、協会単独の伝達訓練は例年通り実施できましたが、県との合同震災訓練は台風のために令和6年1月へと延期になりました。また、5月には木更津市で震度5強の地震を観測し、当協会の地区防災隊も、君津土木事務所管内の担当施設に対して自動配備によるパトロールを行い、県に報告を行いました。8月には安全研修会と同日に防災研修会として、オンライン配信で「当協会の防災活動について」の説明を行いました。その他防災体制の維持のための庶務に関しても、事務局にて例年通り行なっております。

防災の観点では、今年は大きな地震や豪雨があり、被害は甚大ではなかったものの、紙一重で被害があってもおかしくないことを実感しました。有事の際は、まず、我々の各地区防災隊もマニュアルに決められたことを行うことが重要です。ただ、各社の事情や状況によっては予定した対応が出来ない場面もあると思いますし、マニュアルに定められていない場面も発生しますので、お互いにコミュニケーションをとって臨機応変な対応をしていく必要もあります。

令和5年は、私自身も色々な方と触れ合うことで色々なインスピレーションを得ることができました。会員皆様におかれましても、地域の会員様同士の触れ合いを大事にさせていただくことで、災害時の臨機応変な対応力も上がると思いますので、協会行事での交流・それ以外での交流が活発になるといいと思います。

皆様のますますのご健勝をお祈り申し上げます。本年も協会活動へのご協力をお願い申し上げます。よろしく願いいたします。

(1)災害防止事業

①震災訓練等

開催日時、場所	内容	出席者・対象等	備考
令和5年 8月29日	協会独自の情報伝達訓練	全会員 110社	
9月—9日	千葉県県土整備部との 合同震災訓練	台風の為、延期となる (令和6年1月17日(水))	県内全域

② 県出先機関防災説明

実施日	内 容	出席者・対象者	訪問先
令和5年 4月 1日	災害応急対策組織及び災害応急業務について	会員110社	県出先機関21事務所 ※書類送付
6月～10月	・災害応急対策組織及び災害応急業務についての説明	地区担当理事 防災・渉外委員 防災隊長、事務所隊長	県出先機関21事務所 (異動挨拶同日実施) ※一部郵送対応

③ その他災害応急対策に係る事業

実施日	内 容	出席者・対象者	備 考
令和5年 5月10日	県内震度5強(木更津市)発生による本部設置	会長・副会長2名 理事(防災担当)	
5月15日	5/10 地震発生によるパトロール実施結果の報告	会長 常務理事	県土整備政策課
8月 8日 ZOOM 配信	防災研修会 ・当協会の災害防止事業について	会員 47名	(安全研修会・同日開催)

(7) 公共工事発注機関への陳情・提言等事業

月 日	陳 情 内 容	陳 情 者	陳 情 先
令和5年 4月11日	役員改選に伴う挨拶まわり	常任理事5名 理事1名、事務局1名	県土整備部 他
6月～10月	県出先異動挨拶 ・会員への優先発注 ・分離発注の積極導入について	地区担当理事 防災・渉外委員、 防災隊長他	県出先機関 ※一部郵送対応
11月10日 県庁南庁舎 会議室	県営繕工事に係る意見交換会 ・発注条件について ・技術者不足に対する提案について ・時勢単価の採用について ・適正工期の設定について ・若年技術者の対応について ・CPD 制度の採用について	常任理事4名、 理事2名	県土整備部 営繕課、施設改修課、 都市整備局住宅課、 技術管理課

※意見、要望、提案事項等の内容につきましては、HPをご覧ください。



委員会報告 技術・人材委員会

委員長

朝生 勇



新年あけましておめでとうございます。

当委員会の令和5年度の活動についてご報告いたします。

1級電気工事施工管理技士講習会については、1次検定・2次検定講習会をコロナ禍のため、感染予防対策をしっかりと行ったうえで対面講習会を4月・8月に無事に開催することができましたが、1次検定試験の合格率は、全国40.6%・協会31.6%と協会実施の講習会の方が全国よりも低い結果となってしまいました。合格率上昇に向け検討していきます。

安全研修会・経営研修会も昨年度と同様にZ o o mによりオンライン配信にて開催しました。安全研修会のテーマは、「戦闘機テストパイロットが思う安全とは」でした。

本気でやるとは？

- ・真の原因を掴む（嘘を見抜く、何でも疑う）
- ・何故そうなったかが大切
- ・最初から決めつけない（対処しやすい原因にしない）
- ・マニュアル不備とか、教育不足とかにしない（これは主原因ではない）
- ・物理的対策を実施する（運用ではカバーできない）
- ・安全環境を整えるのが、管理者の責任

安全の確保には

- ・出来上がった対策を本気で実行する
- ・そのためには何をしなくてはいけないかを考える
- ・強制する手段を考える、かつ、継続を維持する手段を考える
- ・安全最低ラインでは、もしもに耐えれない

いかに余裕を確保した安全ラインを維持するか

神様にお願いするなら、自分の安全への決意を誓い、事前に不安全リスクに気付かせて下さい。危険性を知らないことが危険です。戦闘機パイロットならではの視点で、新たな発見が多い講義でした。


経営研修会のテーマは「働き方改革・建設業における具体的対応」でした。

知っていますか 安全配慮義務、自社におけるセルフチェック、建設業の現状、監督署の指導事例、長時間労働のバットモデル、改善事例、改善推進リーダーの必要性の7項目を題材に、来年4月から始まる労働時間上限規制に向けて講義をして頂きました。

今後もCPD講習の受講方法や形態を柔軟にし、会員企業様の技術者の利便性や学習効果を高めていきたいと思っております。また、CPD単位や修了証を発行し、公共工事の発注や業者選定の加点になるよう努めてまいります。

末筆ではございますが、会員企業様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、委員会報告とさせていただきます。本年もよろしくお願いいたします。

(3)講習会事業

開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等	結果等
令和5年 4月18日、19日 千葉県経営者会館	1級電気工事施工管理技術 検定学(第一次検定)試験 受験準備講習会 (地域開発研究所 共催)	受講生 会 員 33名 非会員 8名	筆記試験合格率 全国 40.6 % 協会 31.6 %
8月23日 千葉県経営者会館	1級電気工事施工管理技術 検定(第二次検定)試験受 験準備講習会 (地域開発研究所 共催)	受講生 会 員 14名 非会員 1名	

(4)事故防止業

①安全研修


開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等
令和5年 8月8日 ZOOM 配信	安全研修会(CPD 対応) テーマ:「戦闘機テストパイロットが思う安全とは」 講 師: 渡邊吉之 氏 ワールド企画(有)専任講師	会 員 48名 (防災研修会・同日開催)

(5)資機材調査研究事業

①資機材調査研究

開催日時、場 所	内 容	出席者・対象等
令和5年 11月17日 京成ホテルミラマーレ	賛助会員との情報交換会	役 員 9名 技術・人材委員 3名 賛助会員 20名

(8)人材の確保及び育成事業

開催日時、場 所	内 容	出席者数
令和5年 11月9日 ZOOM 配信	経営研修会 テーマ:「働き方改革・建設業における 具体的対応について」 講 師: 田部 良夫 氏 (株)建設経営サービス 提携講師	会 員 29名 

委員会報告 総務・企画委員会

委員長

青木 拓也



新年あけましておめでとうございます。

総務企画委員会の令和5年度の活動について御報告致します。

前半の行事に付きましては第61回通常総会が行われました。また総会後の懇親会も例年通りの通常開催をすることが出来ました。改めましてご出席頂きました会員の皆様には、この場をお借りしてお礼を申し上げます。有難うございました。地区別会員交流会も昨年同様に各地区任意の時期開催と成っております。全ての地区の状況までは把握して居りませんが、北総・東総・山武・長生地区では活発な意見交換が行われ有意義な情報交換の場になったかと思えます。

また、学校訪問も例年通り学校へお伺いをし、当協会の会社案内をすると共に、学校側からは就職状況、生徒たちが希望する就職条件等の貴重な意見を伺うことが出来ました。

後半の行事に付きましてはポリテクカレッジ及び工業高校への出前授業を例年通り行ってまいります。また、CCIからの要請にて各小中学校3校への出前授業の依頼が来ておりますので是非とも地元の会社様の御協力を頂けましたら幸いです。

工業高校技術コンクールに関しましては8月26日に印西市にあるきんでん人材センターにて関東大会が行われ当委員会から5名の審査員を派遣して参りました。例年と同時期の11月25日には京葉工業高校にて他部門との合同開催による千葉県大会が行われ当委員会からは審査委員長を含む5名の審査員を派遣して参りました。

今年度も会員皆様のお役に立てる委員会活動を行っていきけるよう努めて参りますので、当委員会の活動に御理解御協力を賜りますようお願い申し上げます。結びに、忘年会や新年会等お酒を嗜む機会が増えて来ております。皆様方に置かれましてはどうかお体を御自愛くださいますようお願い申し上げます。

(2)就労支援事業

開催日時、場所	内 容
令和5年	
2月 2日 千葉工業高校	出前授業
2月15日 東総工業高校	出前授業
3月16日 市川工業高校	出前授業
4月 全会員向け	人材育成・確保に関する調査の実施(採用状況、インターンシップ受入れ等)
6月 県内工業高校等9校	人材育成・確保に関する調査の実施結果及び各学校の就職率等についての訪問調査
10月 27日 ポリテクカレッジ千葉	出前授業
11月 16日 千葉工業高校	出前授業

広報関係

内 容
<ul style="list-style-type: none"> ・HPの更新 ・各行事 予定、案内、報告 ・人材情報 ・他団体からの各案内 ・建設新聞各紙への取材依頼 ・1級電気工事施工管理技術検定試験受験準備講習会の一般募集 ・通達等 国関係、関東地方整備局、県関係、その他 ・入札公告 北関東防衛局